

平成 27 年 5 月 20 日
東京都財務局
株式会社日本取引所グループ

東京都知事及び株式会社日本取引所グループ取締役兼代表執行役 グループ CEO のコメントの発表等について

東京、そして日本の経済を活性化させるために、現在、東京を国際金融センターへと蘇らせるための様々な取組を、官民が一体となって進めています。

こうした中、東京都では、資金調達手段の多様化及び調達コストの低廉化を図ることに加え、TOKYO PRO-BOND Market^{*1}に対する国内外の金融関係者の認知度をさらに高めていくため、外債の起債、及び海外市場と同市場へのデュアルリスティング（同時上場）を行うこととしました。

株式会社東京証券取引所^{*2}の承認を経て、本日、本債券は、TOKYO PRO-BOND Market に上場され、同市場で初めてのユーロ・ドル債^{*3}の起債となりました。その結果、本起債は、投資家の関心を引き、十分な需要を確保することができました。

これを機に、本起債を含めた同市場に関する情報を国内外に積極的に発信し、TOKYO PRO-BOND Market への理解を深めていただくため、東京都知事及び株式会社日本取引所グループ取締役兼代表執行役グループ CEO がコメントを発表しましたので、お知らせします。

注 1 株式会社東京証券取引所が運営する機関投資家等を対象とした市場

注 2 株式会社日本取引所グループの子会社で、TOKYO PRO-BOND Market の運営主体

注 3 国際債券市場のうち米国以外の投資家を対象にした米ドル建ての債券

記

1 コメント

別紙1 東京都外債のデュアルリスティングを通じた TOKYO PRO-BOND Market の活性化に向けて

別紙2 「東京国際金融センター構想」実現に向けた TOKYO PRO-BOND Market の取組みについて

2 参考

(1) TOKYO PRO-BOND Market の概要

運営主体 株式会社東京証券取引所

設置目的 ユーロ市場のような柔軟かつ機動的な債券の発行を実現し、国内外の発行体と投資家さらには証券会社などの関係業者の利便性を向上させ、アジアの中核としての日本の債券市場の発展に資する

設立時期 平成23年5月

上場実績 プログラム上場数 13件 / 債券上場数 12本

(2) 都外債の起債概要

戦後においては、都は、昭和39年以降、継続的に外債を発行しています。今回の起債概要は次のとおりです。

発行額 10億ドル

※ 都は、米ドル建ての債券を発行時に円に交換し、償還までの費用を円ベースで固定している（為替リスクなし）。

期間 5年（平成32年5月19日 償還）

表面利率 2.125%

発行価額 99.873%

上場先 TOKYO PRO-BOND Market、ロンドン証券取引所

発行日 平成27年5月19日

（払込日）

上 場 日 平成27年5月20日
引受主幹事 BARCLAYS BANK PLC
MERRILL LYNCH INTERNATIONAL
DEUTSCHE BANK AG, LONDON BRANCH
NOMURA INTERNATIONAL PLC

「東京都長期ビジョン」事業

本件は、「東京都長期ビジョン」における、以下の都市戦略・政策指針に係る事業です。

都市戦略6 「世界をリードするグローバル都市の実現」

政策指針15 「日本の成長を支える国際経済都市の創造」

※ 本報道発表文は、都債の発行に際して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。また、本報道発表文は、都債の募集を構成するものではありません。

〔問い合わせ先〕
(都外債に関すること)
財務局主計部公債課
電話 03-5388-2683
(TOKYO PRO-BOND Marketに関すること)
株式会社東京証券取引所 上場推進部
電話 03-3666-0141 (代表)

2015年5月20日

東京都外債のデュアルリスティングを通じた
TOKYO PRO-BOND Market の活性化に向けて

東京都知事
舛添 要一

かつて、東京は、ニューヨーク、ロンドンと並ぶ世界の金融拠点でありました。しかし、この20年間のデフレにより、日本の国際的プレゼンスは低下してしまいました。

日本を再び成長軌道に乗せる。そのためには、まず日本経済を牽引する機関車である東京を、世界から資金、人材、情報が集まる「グローバル経済都市」にしていかななくてはなりません。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、世界の注目が集まる今こそ、絶好の機会だと思います。私が昨年発表した「東京国際金融センター構想」には、国と経済界からも強いご賛同をいただき、オールジャパンの体制が整いました。経済の血液である金融の分野で、東京の存在感を大いに高めていきたいと思ひます。

本構想には多岐に渡る取組が盛り込まれていますが、その一つが、

TOKYO PRO-BOND Market への東京都外債のデュアルリスティング（同時上場）です。

TOKYO PRO-BOND Market は、創設間もない市場ですが、海外の金融関係者にとっても利便性の高い市場です。その存在を国内外に発信することは、今後の東京の活性化に大いに資すると考えています。

このため、東京都は、前回の東京オリンピック・パラリンピックが開催された1964年以降、継続的に発行し、これまでロンドン証券取引所など海外市場のみで上場してきた外債を、このたび、TOKYO PRO-BOND Market にもデュアルリスティングし、起債を行いました。

本起債は、TOKYO PRO-BOND Market において、2011年の創設以来、初めてのユーロ・ドル債の起債となりました。

起債に当たっては、これまで投資家の間で築かれてきた東京都に対する信頼感に加え、同市場上場などの積極的な取組みが、投資家の関心を引いたこともあり、十分な需要が得られました。また、ご参加頂いた投資家の方からも、新しい試みに対して前向きなご評価を頂きました。

本起債を踏まえ、東京都は、外債の発行に当たって、今後も、**TOKYO PRO-BOND Market** を活用していきたいと考えています。また、これを一つの契機として、国内外の幅広いニーズに応えられる市場である **TOKYO PRO-BOND Market** が活性化し、東京が資金調達・運用の中心地へと成長していくことを期待しています。

私は今後とも、東京という都市をマネジメントする東京都のリーダーとして、東京が「国際金融センター」としての輝きを得るため、世界からの脚光が当たる「舞台づくり」に邁進してまいります。

以上

2015年5月20日

「東京国際金融センター構想」実現に向けた
TOKYO PRO-BOND Market の取組みについて

株式会社日本取引所グループ

取締役兼代表執行役グループCEO

齊藤 惇

この度、東京証券取引所の運営するプロ向け債券市場、TOKYO PRO-BOND Market に、東京都発行のユーロ・ドル債が上場しました。これは TOKYO PRO-BOND Market にとって初の外貨建て債券の上場であり、同市場のグローバル金融市場としての発展可能性を示す、大きな意義のある上場と評価されるものです。

TOKYO PRO-BOND Market は、2011年5月に開設したプロ向け債券市場であり、投資家を、機関投資家等のいわゆるプロ投資家に限定することにより、一般投資家向け市場よりも簡便かつ柔軟なディスクロージャーによる債券発行を可能とした市場であり、ユーロ債券市場等の海外のグローバル債券市場と同様、プログラム

形式による上場や英文による情報開示が可能である等、国内のみならず、広く海外の発行体や投資家の利便性を向上させたものであり、我が国市場により多様な発行体・投資家を呼び込むうえで大きな役割を果たしうる市場であります。

現在、日本取引所グループでは、中期経営計画における重点戦略の一つとして、アジアの成長を取り込むとする「アジア戦略」を掲げ、「アジアで最も選ばれる取引所」を目指した取組みを進めています。なかでも、この TOKYO PRO-BOND Market の活用・振興は、アジア戦略の鍵となる施策の一つであり、我々としても、同市場のより一層の利用促進に向け、積極的に活動を進めているところです。

また、TOKYO PRO-BOND Market は、海外の発行体および投資家を我が国市場に呼び込む役割が期待される市場として、「東京国際金融センター構想」実現のためにも、大いに資するものであります。

東京市場の国際化は、海外の金融市場のグローバル化が急速に進展する昨今、我が国の経済成長の観点からも喫緊の課題となっており、東京都がこのタイミングを捉えて、そのイニシアチブを取って本構想を打ち出し、自ら率先して TOKYO PRO-BOND Market 上場に取り組まれたことは高く評価されるものであり、舛添都知事をは

じめとする関係者の皆様のご尽力に対し、深く敬意を表します。

日本取引所グループとしても、取引所の運営者として東京市場の一端を担う立場から、国、東京都および金融関係者と連携しながら、東京都の本構想の推進・実現に向けた取組みに積極的に協力し、東京市場のグローバル化という大きな目標の実現に貢献してまいりたい所存です。

以上